



つなぐ50年 輝く 未来へ～市制50周年～⑨

昭和45年に誕生した本市は、令和2年7月1日に市制施行50周年を迎えました。記念事業は、来年度に延伸となりましたが、「新型コロナに負けない！50周年」として市民の皆さまにメッセージを届けます。

岡守山市制施行50周年記念事業推進委員会事務局(企画政策課内)
☎・☎(582)1162 ☎(582)0539

「市」 制施行50周年記念誌」24頁には、市立守山女子高等学校の変遷についての掲載があります。市立守山女子高等学校は、昭和34年4月1日、県下唯一の公立女子高等学校として「愛敬・清純・勤勉」を校訓とするなか、スタートしました。その後、平成18年に学校法人立命館へ移管するまでの間、多くの生徒が学び巣立ちました。今回、市制施行当時、市立守山女子高等学校の生徒で、同高の生徒会役員を務めていた**渋谷 成子**さんにお話を伺いました。

新型コロナに負けない！50周年

市立守山女子高等学校への想い



女子高跡地にできた生涯学習・教育支援センター(エルセンター)敷地には、女子高の門扉(上)と針塚(下)などが配置されたメモリアルパークがあります。

◇高校生活の思い出を教えてください
私は被服科で和裁を中心に学びましたが、あまり得意ではなかったので、布がボロボロになるまで裁縫の練習をしたことを思い出します。生徒の人間形成を大切にする校風だったので、一人ひとりの性格を尊重し、型にはめずに指導してくださいました。私の原点は、高校生活の3年間といっても過言ではありません。

◇女子高はどのような存在でしたか
市立高校なので、先生方が他校に異動することはありません。社会に出てからも何かあると学校へ行き、先生に相談するという卒業生が多かったと思います。いつでも相談できる場所があるという安心感があり、少なくとも、卒業生の私にとって、市立守山女子高等学校は大切な学校であり、「ふるさと」のようでした。今でも女子高跡地に残された記念碑や針塚などに当時を懐かしむことができます。

◇今後どのようなまちになってほしいですか
子どもがのびのびと育ち、若い人が愛着を持って住み続けたいと思ってもらえるまちになってほしいです。守山市のために、まちづくりをしたいという人が増え、自分のできることは何かを考え、さりげない愛を注いでくれる人がたくさんいるまちになることを願います。

▶渋谷 成子さん
市立守山女子高等学校 昭和47年卒業生
立命館守山中学校・高等学校 早苗会相談役

